



国民の森林・国有林

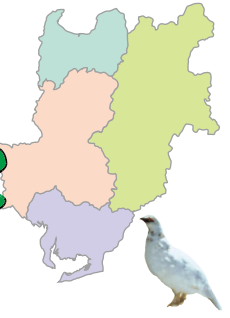
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



2月号

メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



令和元年度 森林技術交流発表：前―列目は審査員、2～3列目は受賞者の皆さん（中部森林管理局広報）

主な項目

- 本局のトピックス（中部森林管理局森林技術交流発表会を開催～ほか）…………… P1
- 各地からのたより（㈱野尻木材工業所が林野庁長官賞を受賞～ほか）…………… P5
- シリーズ「ご当地自慢」（東濃森林管理署 「山城址めぐり」）…………… P9
- 森林のお仕事紹介コーナー
- ☆「森林官からの便り」（愛知森林管理事務所 豊田森林事務所）…………… P10
- ☆「森林・林業界からの便り」（日和田林産有限会社）…………… P11
- ☆「林業土木業界からの便り」（株式会社 相模組）…………… P12
- 3月の見どころ聴きどころ…………… P13

〈本局のトピックス〉

中部森林技術交流発表会を開催

【技術普及課】

一月三十日と三十一日の二日間、中部森林管理局大会議室において延べ四百名近くの参加をいただき、「令和元年度中部森林技術交流発表会」を開催しました。

今年度は、国有林関係や民有林・学校関係等から合計二十五課題が発表され、国有林の部では、全十四課題の中から四課題を優秀賞に選定しました。

木曾森林管理署・木曾森林ふれあい推進センターからは、木曾ヒノキ天然更新のためのササ制御とその効果についての発表があり、貴重な天然資源として伝統的建築

調査地



処理区分	
①薬剤散布・漸伐区	漸伐区
②	保残区
③連年刈払・漸伐区	漸伐区
④	保残区
⑤連年刈払・間伐区	間伐区
⑥連年刈払・非伐採区	非伐採区

伐採方法とササ処理区別にプロットを設定
(木曾署・木曾森林ふれあい推進センター)

物などに利用されてきた木曾ヒノキの天然更新技術の確立に期待が高まりました。

また、愛知森林管理事務所からはICT技術を活用した「捕獲センサー」により、わな見回りの軽減を試みるニホンジカ被害対策と、主伐箇所周辺で集中的にニホンジカを捕獲し、植付時の食害を防ぐ等、造林事業の省力化に向けた取組がともに注目を集めました。



捕獲センサーを用いたICT技術により見回り労力を軽減化
(愛知森林管理事務所)

東信森林管理署からは、再造林の際に重要となる野鼠駆除の現状と今後の取組が発表されました。殺鼠剤散布の有効性を確認



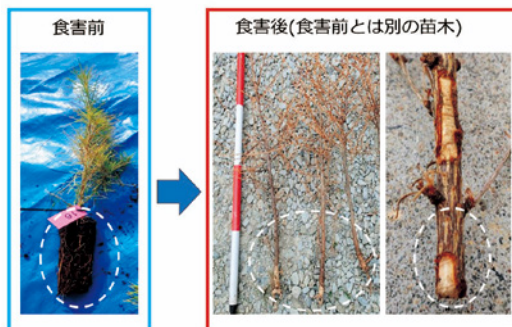
- ・1時間あたり3,600本/2人の定植が可能に！
 - ・セル苗の活着率は90%程度
- (従来の手植えの場合、300~350本/2人)

10倍以上の作業効率！

※ 本技術は実用化され、約25万本/年のセル苗が育成

タマネギ用移植機を活用した植え付け作業の省力化
(富山県農林水産総合技術センター 森林研究所)

野鼠被害について



野鼠被害を受ける前の苗木と食害を受けた後の苗木
(東信森林管理署)

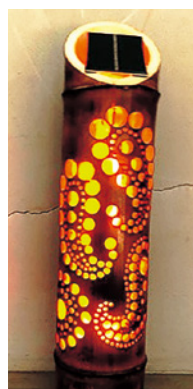
し、今後は省力化に向けてドローンを活用した散布試験を実施していくことが検討されました。

民有林・学校関係では、富山県森林研究所から、開発した優良

無花粉スギ「立山 森の輝き」を

本格的に普及するための農業用機械を活用した育苗技術や休耕田を有効活用した水耕栽培の実証試験が紹介されました。

学生の部では、下高井農林高等学校が、放置され拡大しているモウソウチク林の竹を加工してキャンドルを作成し、地域の資源として活用する取組等を発表し、実際に会場で披露されたバンブーキャンドルに注目が集まりました。



バンブーキャンドル
(下高井農林高等学校)

中部森林管理局では、発表成果を業務に活用していくとともに、研究機関、学校、林業事業者など関係機関や地域との連携を深め、森林・林業技術のさらなる発展と普及に取り組みます。

詳細につきましてはQRコードを読み込んでください。



令和元年度中部森林技術交流発表会 入賞課題一覧表
 国有林の部

◎局長賞 優秀賞

番号	課題名	所属	氏名
4	木曾ヒノキ天然更新のためのササ制御とその効果について	木曾森林管理署	なかじま かずみ 中島 和美
		木曾森林ふれあい推進センター	はやかわ こうじ 早川 幸治
7	ICTを活用したニホンジカ捕獲の取組について ～わな見回りの軽減の試み～	愛知森林管理事務所	ひおき よりあき 日置 順昭
8	造林事業の省力化に向けた新たな挑戦	愛知森林管理事務所	はにおか ちひろ 埴岡 千尋
13	野鼠駆除の現状と確実な再造林に向けた今後の取組	東信森林管理署	ふなき たける 舟木 武 かとう よしあき 加東 良彬

◎局長賞 努力賞

番号	課題名	所属	氏名
1	キッカケ ^{どせきりゆうさいがい} 沢土石流災害の発生によるその後の対応について	南信森林管理署	おおくぼしゅういち 大久保秀一 たかはしすすむ 高橋 進 じょうないゆうき 城内 優希
2	花崗岩 ^{かこうがんまさと} 真砂土 ^{こうくうじっぽんこう} における航空実播工の経年変化の追跡 ～植生と土壌の観点から～	伊那谷総合治山事業所	つむら なおき 津村 直樹 みやざわ まさひろ 宮澤 昌弘 さとう よしかず 佐藤 義和
3	治山事業におけるニホンジカ対策と土壌固定の取組について	東濃森林管理署	すがの のぶあき 菅野 暢晃 じょうくら けいすけ 城倉 恵介 えさき ようすけ 江崎 陽介
5	架線集材 ^{かせんしゅうざい} 地域における生産性向上の取組	南木曾支署	ちむら ともひろ 千村 知博
		(有)ヤマカ木材	かつの たいへい 勝野 泰平
6	高密度植栽地における間伐効果と今後の施業について	森林技術・支援センター	めざき たくみ 目崎 拓海 やすえ きよふみ 安江 清文
9	秋植栽したヒノキ・コンテナ苗が枯死した原因について	飛騨森林管理署	よこた かずえ 横田 和江
		岐阜県森林研究所	わたなべ ひとし 渡邊 仁志
10	中信森林管理署グリーンサポートスタッフの取組	中信森林管理署	すざきりほこ 鈴木里歩子 ひらとち じゅんき 平枒 潤己
11	イヌワシ生息地の森林環境保全整備事業箇所における 生息環境改善の試み（中間報告）	東信森林管理署	きうち しげあき 木内 重明
		(株)環境アセスメントセンター	みずかみ たかひろ 水上 貴博
12	高山 ^{こうざん} ・亜高山 ^{あこうざん} での長期にわたる植生復元事業 ～立山 ^{たてやま} ルートにおける緑化木ミヤマハンノキの管理について～	富山森林管理署	くわばら ゆうた 桑原 優太
		たてやま 立山ルート緑化研究委員会	おおみや とおる 大宮 徹
14	ニホンジカによる造林地被害に対する新たな取組について	岐阜森林管理署	ふるた まこと 古田 誠 なかだに あつし 中谷 淳視

令和元年度中部森林技術交流発表会 入賞課題一覧表 民有林・学生の部

◎森林・林業振興賞

番号	課 題 名	所 属	氏 名
16	富山県における優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の省力的な育苗技術	富山県森林研究所	さいとう まき 齋藤 真己
17	グルタチオン施肥が秋出荷に向けたヒノキコンテナ苗生産へ及ぼす影響	岐阜県森林研究所	もてき やすかず 茂木 靖和 わたなべ ひとし 渡邊 仁志
		岡山県農林水産総合センター	おがわ けんいち 小川 健一
18	下刈りを完全省略した造林地におけるヒノキの成長	岐阜県森林研究所	わたなべ ひとし 渡邊 仁志 もてき やすかず 茂木 靖和
19	新たな森林管理制度の長野県の取組について	長野県林務部森林政策課 森林経営管理支援センター	い で せいじ 井出 政次
23	ロープ巻きによるクマ剥ぎ防除の効果について	(国研) 森林研究・整備機構 森林整備センター 中部整備局 岐阜水源林整備事務所	かりの ゆうすけ 狩野 裕介 こばやし かおり 小林佳央理

◎奨励賞

番号	課 題 名	所 属	氏 名
15	地域へ届け！私たちの思い ～下高井農林高校グリーンデザイン科の取組～	しもたかい 下高井農林高等学校	うえの たつろう 上埜 達郎 こうの こだい 河野 悟大 いとう りょうと 伊東 涼斗
20	ドローンを用いた定性と列状間伐木の画像抽出	信州大学農学部	うらの ようへい 浦野 陽平
		北信森林管理署	いわたか のぶひと 岩塚 伸人
21	林大版チェンソー安全作業マニュアル ～伐倒作業編～	長野県林業大学校	たかはし こうじ 高橋 幸司 みぞぐち しょうた 溝口 翔太 みむろ あきひと 三室 晃人
22	スギ人工林を構成する個体の成長解析 および林分の現況に関する研究	長野県立木曾青峰高等学校	さ さ き はやと 佐々木 隼 うめもと ともしと 梅本 倫仁
24	飛驒の赤松が育てる～森・人・伝統建築～	ひだたかやま 岐阜県立飛驒高山高等学校	かとう ひでとし 加藤 英聖 あかばね じん 赤羽根 迅
		(資)戸田材木店・セルバ	と だ しょうじ 戸田 昌志
25	林業界における女性の在り方	長野県林業大学校	いちやなぎ きくの 一柳 きのの いわた つむぎ 岩田 紬

〈本局のトピックス〉

民・国連携による 森林総合監理士等会議を開催

【技術普及課】

十一月二十一日から二十二日の二日間、森林総合監理士等連携会議を長野県との共催で佐久市、小諸市、南佐久郡佐久穂町にて開催しました。

本会議は、中部ブロックの民有林・国有林の森林総合監理士等の資質と技術の向上、並びに情報交換を目的に毎年開催しているもので、今年には四県（長野、岐阜、静岡、愛知）の民有林関係者十七名、中部森林管理局職員十六名が参加し、カラマツ林業地における主伐・再造林の取組、木材市場流通等について事例紹介や現地視察などを行いました。



造林作業機導入試験地（町有林）での視察の様子

一日目は、佐久穂町有林、大曲国有林における「皆伐施業後の造林作業機導入による低コスト化の取組」、「カラマツ大苗低密度植栽、当年生コンテナ苗の植栽試験」について視察を行いました。



植栽試験地（国有林）での視察の様子

二日目は、東信木材センターにおいて、センターの取組、市場の動向についての説明等を受け、その後、各県からの主伐再造林における取組状況などについて情報提供をいただきました。

二日間の交流で、各講師や現地での説明に対し、活発な質疑応答と積極的な意見交換が図られ、民国のさらなる連携に有意義な会議となりました。

国産材利用推進に尽力

大嘗宮造営用材の搬出に感謝状授与

【総務課、資源活用課】

二月十三日、中部森林管理局において、「大嘗宮」に用いる良質な皮付きカラマツを生産供給いただいた、「佐久森林組合」及び「株式会社 吉本」の二事業者の功績に対して、令和元年度国産材利用推進部門の局長感謝状の贈呈を行いました。

昨年十一月十四日から十五日に行われた「大嘗祭」は皇位継承の重要祭祀であり、皇居東御苑に特設された「大嘗宮」で行われました。

大嘗宮は、古代から伝わる伝統工法の「黒木造り」で建てられ、当局ほか供給した「良質の皮付き丸太」が使用されました。

「良質の皮付き丸太」の生産に当たっては、二事業者が、通常は高性能林業機械で実施する造材作業をチェーンソーを手で待つて実施したほか、運搬の際には皮剥け防止の緩衝材を使用するなど工夫

をこらして細心の注意を払っていただきました。

また、二事業者と連携しながら予定数量の約二倍もの本数を職員総出で保管・管理し無事丸太を供給するなど模範的な取組を行った東信森林管理署にも局長から表彰状が贈呈されました。

様々な対応を経て、無事納品が出来たことは、国産材とりわけ「信州カラマツ」の利用推進の一助となりました。関係された皆様方に感謝申し上げます。



感謝状授与者（中央：（株）吉本 由井正隆様、中央右：佐久森林組合 依田秀一様、中央左：東信署長）との記念写真

〈各地からのたより〉

【株野尻木材工業所が 林野庁長官賞を受賞】

【木曽森林管理署】

一月二十五日、木曽郡上松町の木曽官材市売協において第二十三回全日本木材市場連盟国産材需要拡大製材品特別展示大会が、国有林材等の製材加工品約一八〇立方メートルを集め、全国各地から百名の買い手が集まり盛大に開催されました。

記念式典に続きセリ市が始まると、買い方それぞれの目当ての製品を活発に競り合いが行われ、なかでも、(株)野尻木材工業所が出品し林野庁長官賞を受賞した木曽ヒノキ柁板四メートル×一九・〇センチメートル×一三・〇センチメートル(カネムジ)には二百四十万円/立方メートル、(株)勝野木材が出品した木曽ヒノキ板目一・



林野庁長官賞受賞の木曽ヒノキ柁板



デザインコンペ受賞作(試作品)
(左から、大屋 誠上松町長、大畑 俊隆長野県議員、当局長、野村 弘木曽官材市売協同組合理事長)

四メートル×七二・〇センチメートル×六・〇センチメートル(四方ムジ)に二百万円/立方メートルで買い上げられ、特に幅広材、無節材は人気が高く活発な取引となりました。

また、来賓の方々の間で、昨年度と今年度で開催した「ブランド材を用いた新空間デザインコンペ」の受賞作品(試作品)も紹介され、ユニークな発想と優れたデザインに木材利用の新たな可能性について話が弾みました。

【東信森林管理署】 山元産物販売委託を開始

【東信森林管理署】

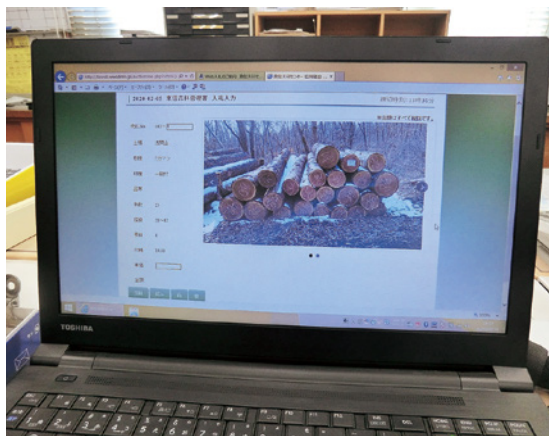
十二月十三日から東信木材センター協同組合連合会と連携し、山元(伐採箇所付近の林道沿い)における産物販売委託を開始しました。

中部森林管理局で行っている販売委託は、丸太を民間の市場へ運搬し、そこで入札やセリにより実施していますが、この販売方法は市場までの運搬を行わず山元に丸太を集積し、電子入札により行うことが大きな特徴です。



山元での極積み状況

販売から搬出までは、希望者が東信木材センターに登録を行い、公告期間中に集積されている丸太の品質等を現地を確認したうえで、パソコンやスマートフォンで応札を行い、落札者が丸太を現地から搬出します。



パソコンで、入札物件を閲覧している様子

この方法では通常の販売委託と比べ、市場までの運搬費を必要としないため、生産事業の請負経費を節約することができます。また、カラマツ需要が拡大する現在、電子入札の採用で遠方からも多くの事業者が入札に参加することにより、高値での販売が期待されます。

広葉樹サプライチェーンに係る 現地検討会の開催

【飛騨森林管理署】

十一月二十五日、市内の伐採関係者及び製材関係者等を対象に飛騨市宮川町内の市有林において、飛騨市主催による現地検討会が開催されました。

〈各地からのたより〉

この検討会は、飛騨市が進める「広葉樹まちづくり」を推進するため、伐採から製材、商品制作、販売に至るまでの新たなサプライチェーンや、活用を図る小径木の程度や質、並びに現地で伐り出した丸太の利用方法について、川上から川下の関係者間の情報共有を図る目的で行われました。

ナラ、ブナ等の広葉樹二次林での施業地では、将来の育成木を残し、不良木を伐採、搬出した材を見て意見交換を行いました。

伐採業者からは、「パルプ材扱いで処理する」と意見がありました。また、製材業者や木工品販売業者からは、「様々な広葉樹がまとまれば、板材に利用できる」、「最近では家のフローリングでも一種類だ



丸太の採材を検討している様子

けではなく、多種類を混ぜて模様にしたリ、カツラなどは、大根のカツラムキのように切削して化粧合板に利用する」などの意見もありました。

検討会に参加し、広葉樹の採材の仕方、利用方法などについて、知識を深めるとともに、川上と川下の視点の違いを感じました。

新たな利用、需要等の情報の共有化を図りつつ、今後も地域の課題に取り組んでいきたいと思えます。

ニホンジカ食害防除対策 講習会を開催

【岐阜森林管理署】

十一月二十八日、岐阜県加茂郡七宗町の七宗遊園において、県内の林業関係者等七十名が参加し、民国連携によるニホンジカ食害防除対策講習会及び現地検討会が開催されました。

本年は、岐阜大学応用生物科学部の安藤正規准教授、池田敬特任助教に講師として参加していただきました。



安藤准教授の講義様子

安藤准教授からは、国立公園等におけるニホンジカによる食害事例が多数報告され、「行政のスピードは、シカの被害拡大に追いつけない。そのため、気づいたときには手遅れということもある」

というアドバイスがあり、参加した行政担当者の方々に、深く静かに進捗しつつあるニホンジカ被害の危機感を、しっかりと持ち帰っていただけたと考えています。

また、池田敬特任助教からは、シカの生態について講義をいただき、捕獲圧によりシカの行動が変化するデータの紹介があり、いわゆるスレジカ（捕獲困難なシカ）をつくらないことの重要性も理解することができました。

講義終了後は、岐阜森林管理署と森林技術・支援センターが七宗国有林内に設置している「獣害対策展示エリア」を視察するとともに、参加者各位の日頃の取組などについて情報交換を行いました。



熱心に講義を聞く会場の様子

犬山・八曾自然休養林を満喫！
法科大学院生を
森林官が案内！

【愛知森林管理事務所】

十二月四日、八曾国有林へ名古屋
屋大学大学院法学研究科の学生
十五名が自然散策に訪れ、豊田首
席森林官が「国有林おさんぽマッ
プ」で紹介している、犬山・八曾
自然休養林内のモミの木キャンプ
場から八曾滝までのコースを案内
しました。

当日は、天候に恵まれ散策日和
となる中、落葉し色とりどりの色
彩に包まれた散策路やマイナスイ
オンたっぷりの八曾滝など自然休
養林を満喫していただきました。



自然休養林の概要を説明している様子



自然休養林を観察している様子

今回案内した皆さんは、いつも
は都市部にあるキャンパスで法律
を専門に学んでいます。散策の
ところどころで、生物多様性の保
全、花粉症や地球温暖化対策な
ど、最近の森林や国有林を取り巻
く状況をしっかり捉えたいという
鋭い質問が多く寄せられました。
また、中国やベトナムからの留
学生からは、「日本の森林にはゴ
ミがなく美しいことや、なにより
もそれを支える人々の心が素晴ら
しい」と感想が聞かれました。
当所では、今後も自然休養林な
ど豊かな森林資源を活用し、森林
と人々との絆を広げる普及啓発活
動に取り組んでいく考えです。

ミニクリスマスツリー作りを体験

【中信森林管理署】

十二月十三日、松本市堀米保育
園の園児二十名を対象に、工作や
ゲームを通して自然とふれあうこ
とを目的とした森林教室を開催し
ました。

最初に、冬芽を題材にした絵本
の読み聞かせを行い、樹種によっ
て様々な形の冬芽があることや、
森の動物たちが冬眠して冬を越す
ように、木は冬芽で寒い冬を乗り
越えるということを学習しまし
た。

次に箱に入ったニホンジカの角
や松ぼっくりを、手で触った感触
だけで当てるゲームを行いました。
松ぼっくりは簡単に正解しまし
ましたが、ニホンジカの角は難し
かったようで「木の枝」や「トナ
カイの角」など色々な答が飛び出
し、初めて見た実物を興味深そう
に触ったり、頭に付けて写真撮影
をしたりしていました。

最後に松ぼっくりを使ったミニ
クリスマスツリー作りを行い、土



完成したツリー(左)、ツリー作成中(右下)、シカの角で記念撮影(右上)

台の木製コースターや松ぼっくり
にそれぞれ色塗りやビーズなどで
夢中になって飾り付けを進め、個
性あふれるかわいいツリーが完成
しました。
今回の森林教室を通して、自然
とふれあうことの楽しさを知り、
森林に住む動植物に興味を持って
いただけたらと思います。

〈各地からのたより〉



急峻地にロープを張り歩道面を整備

【岐阜森林管理署】
 十一月二十八日、岐阜県下呂市おさかちやう小坂町の「観音滝」周辺において、（一社）名古屋林業土木協会小坂支部会員十五名による、社会貢献活動として歩道等の整備が行われました。

小坂町は、日本一滝の多い町として知られ、落差五メートル以上のものだけでも二百六十箇所もあり、その殆どは、岐阜森林管理署管内の落合国有林内に所在し、これらの滝の様子を肌で感じられる滝巡りのコースがいくつか設定されており、詳しい専門ガイドの案内で巡ることが出来ます。



作業後、観音滝を背に記念撮影

「観音滝」は、通行が一般開放されている「小坂下呂林道」沿線から入ることができ、一般の方でも比較的容易に巡ることが出来ます。このため、林道沿線の管理とともに、安全な滝巡りができるような適切な保全が課題となっていました。

作業は「観音滝」へ通じる谷間で、雑草の刈払い、灌木や危険木の除去、滑落の恐れのある危険箇所への防護ロープ設置などを行いました。

今回のボランティア活動に対して、地元振興事務所やボランティアガイドからも、感謝、ねぎらいの声をいただきました。

パズルには、木曾路美術館（休館中）所蔵の浮世絵「木曾街道六拾九次之内」の「奈良井」及び「須原」（歌川広重作）を使用しています。

また、パズルピースや貼り板、台座には、木曾で生産される木曾ひのき材を使用しています。

【木曾森林ふれあい推進センター】
 平成二十六年の御嶽山噴火災害により大きな打撃を受けた木曾地域の復興支援のため、その歴史やゆかりの人物等により形成された木曾ブランドを求めて訪れる観光客等をターゲットとした「中山道木曾十一宿パズルラリー」に引き続き「第二弾」を実施しています。

長野県塩尻市から岐阜県中津川市に至る中山道の木曾十一宿のうち、福島と上松を境に北部（贄川（福島）と南部（上松）馬籠）に分け、それぞれに置かれた六枚ずつのパズルを集めると絵が二種類完成します。

パズルラリーは、三百セットがなくなり次第終了となります。お問合せ先…木曾森林ふれあい推進センターパズルラリー事務局
 ☎〇二六四―二一―二二二

ルール等の詳細については、QRコードを読み込んでください。



パズル完成品、左が、「奈良井（北部）」右が、「須原（南部）」



今年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」は、美濃国（岐阜県）が生誕の地といわれる明智光秀が主人公です。

明智光秀は軍事や政治、外交に長けた逸材として知られています。一番はやはり「本能寺の変」。主君の織田信長を討ったことで有名ですが、生誕には複数の言い伝えがあります。

特に青年期については、史実に掲載されていないところもあり、少々、ミステリアスな人物です。

今回、光秀生誕の地の一つといわれる、岐阜県東濃エリアの「山城址」を紹介します。

東濃地域には、岩村城址（恵那市）、苗木城址（中津川市）を始め、約八十近くの山城があったといわれています。



岩村城址【岐阜県恵那市】

山城は、一五三〇〜一五八〇年代、山の中腹に土塁や堀を整備し、敵が攻めにくいように地形を生かして築かれ、戦国時代末期（一五九〇年代以降）になると、山城から壮大な天守閣に建築様式が変わり、江戸時代に入ると徐々に縮小され、明治以降になるとほとんどが廃城となり、「城址」として現在に至っています。

一月十一日に岐阜県の恵那市明智町、岐阜市、可児市に大河ドラマ館が開館しました。恵那市明智町のドラマ館は、明知城址散策コース沿いにあり、東濃地域の山城についての展示なども行われています。



苗木城址から木曾川・中津川市街地【岐阜県中津川市】

中部森林管理局の国有林お散歩マップには、岩村城址及び小里城址（瑞浪市）を掲載していますので、お散歩マップも活用して、歴史に触れる散策を満喫いただければと思います。

お散歩マップは、QRコードを読み込んでください。



小里城址から瑞浪市街地【岐阜県瑞浪市】

- ◆アクセス
〔自動車〕
- 明知城址…岐阜県恵那市明智町城山 中央道「恵那IC」より約三十五分
 - 岩村城址…岐阜県恵那市岩村町城山 中央道「恵那IC」より約二十分
 - 小里城址…岐阜県瑞浪市稲津町小里 中央道「瑞浪IC」より約十五分
 - 苗木城址…岐阜県中津川市苗木 中央道「中津川IC」より約十分



瀬戸国有林の遊歩道沿いのツツジ

豊田森林事務所は、自動車メーカー「トヨタ」の本社が所在する豊田市の中心地にあり、豊田市、瀬戸市、犬山市に約二千九百ヘクタの国有林を管轄しています。



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。

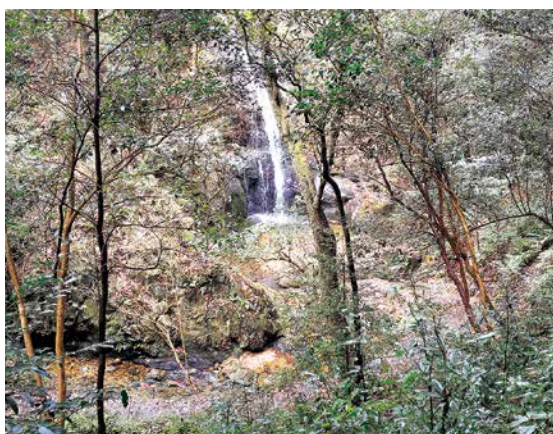
一方、住宅地が国有林に隣接していることから、道路沿いの待避



定光寺から望む名古屋駅高層ビル群と東谷山

比較的都市部に近い、犬山、八曽、瀬戸の各国有林は、都市近郊林として、キャンプ場、遊歩道などが整備されるとともに、国有林内を通過する東海自然歩道は多くの方に利用されています。

また、三月には八曽国有林で八百名が参加するトレイルランニングの大会が開催されることとなっており、モミの木駐車場を出発し、国有林内の起伏の大きいコースを、ロングコースとショー



八曽の滝の前を横切るトレイルランニングのコース

所や駐車スペース付近は、不法投棄場が目立ち、地域関係者とともに、ゴミ対策について粘り強く対応していく必要を感じています。森林事務所の主な業務は、現在造林事業と国有林の管理や森林ふれあい事業ですが、次期計画からの間伐事業の大幅な増加に備え、業務を効率的に進めていく必要があります。



森林計画作成のための現地検討会（右端が筆者）

トコースに分かれて競い合います。体力に自信のある方は、是非参加してみたいかがでしょうか。■未来の担い手へのメッセージ この仕事は自然が相手で、すぐ結果が分かるものではありません。しかし、先人たちが手をかけた立派な森林を見て、自分が施業を行った森林もいつかはこうなるのかと思うと、感慨深いものがありますし、大変やりがいを感じる仕事だと思えます。一生の仕事として、国有林への就職をお勧めします。

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



ひわだ
日和田林産 有限会社

よしもと りゅうせい
吉本 龍誠
(二〇一九年入社)



■事業の概要

請負事業・森林環境保全整備事業（保育間伐活用型 飛騨4青屋）

発注者：飛騨森林管理署

現場はヒノキ・カラマツの人工林で、高性能林業機械を用いて

間伐材の搬出作業等を行っています。急傾斜で大きな岩石も多いことから、現場踏査を十分に行い、集材距離、路面勾配に配慮して作業道を開設し、また、全員で意見を出し合いながら生産性向上に繋がるよう事業を実施しています。

■現場での役割、魅力

前の仕事の経験を活かし、先輩の指導を受けながら森林作業道の支障木伐倒等を行っています。除根作業を行う場合は作業がしやすいよう伐採位置を高めにし、集材する場合は根株が支障とならないよう地面ギリギリに伐採するなど、次の作業の流れ、効率を考え、伐倒するように心がけています。

また、丸太の巻立作業等で重機操作の経験を積んでいます。各作業のポイントなど、先輩からのアドバイスを吸収し、自分なりに色々考えて日々の状況に応じた作業が出来るのが新鮮です。班の担い手として一人前になれるよう日々頑張りたいと思います。



丸太の巻立作業

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

私は高山市出身で、地元の飛騨高山高等学校環境科学科（林業専攻）に入学するまでは、林業にはあまり興味はありませんでしたが、実習で行った造材作業、小径木の伐倒などで、初めてチェーンソーに触れ、木を切る楽しさを知りました。

また二年生の時に参加した山仕事インターンシップでは、高性能林業機械の試乗体験や直径三十センチ以上のカラマツの伐倒を体験させていただきました。木が倒れて

いく様子を圧倒され、地響きに驚き感動し、将来の仕事はチェーンソーを使った仕事をしたと思うようになりました。卒業後、名古屋などで造園の仕事に従事していましたが、結婚を機に地元へ戻って林業に携わりたいと思い、インターンシップでお世話になった今の会社に就職することになりました。

■未来の担い手へのメッセージ

林業は危険というイメージがありますが、日々違う環境の中で作業手順を遵守し、必要な準備を万全にすることで、安全が確保されます。地域の森林を守り、活用する大切な仕事です。担い手として一緒に頑張りましょう。



指差呼称「方向良し」

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



株式会社 相模組

牛越 幹

(二〇一六年入社)



■事業の概要

請負事業・芦間川災害関連緊急
治山工事

発注者・中信森林管理署

平成二十八年の豪雨により土石流が発生し、既設治山ダム三基が埋没し、溪床には現在も不安定な土砂が多く堆積しており、大雨により土砂が流出する危険性がある

ことから、溪間工を三基設置する
工事を行いました。



生コンクリートを流し込んでいる様子

■現場での役割、魅力

当現場での役割は、丁張設置作業、出来形等の写真撮影など現場管理の作業を行いました。特に測量は出来形に影響する部分で、精度が求められます。構造物が、出来形不足にならないよう、一つ一つの作業を丁寧に行い、確認をしながら業務にあたりました。
現場の標高は千以上あり、天候も変わりやすく、河川内という

こともあり、自然を相手に作業するのは非常に大変でした。しかし、日々の業務の積み重ねで、少しずつ出来上がっていく構造物を見ると達成感があり、やりがいを感じました。



谷止工コンクリート出来形検測の様子

■林業土木の世界に入ったきっかけ

父が建設業に携わっており、幼い頃から土木は身近な存在でした。仕事の手伝いなどをするうちに、私も父のような建設業を担う一人の技術者として働きたいと思い、専門的な分野を学べる高校へ進学しました。

現在、(株)相模組へ入社し、四年目となりました。技術者として一人前になるため勉強の毎日です。

将来の建設業を担うため精進してまいります。

■未来の担い手へのメッセージ

建設業は3Kなどと言われ、あまり良いイメージはありません。「きつい・汚い・危険」そんなことも時にはありますが、それ以上に私はこの仕事にやりがいを感じています。建設業は生活の基盤となる重要な仕事です。建設業に従事する自分にしかできない役割もあると思います。これからの生活基盤を支える技術者として一緒にがんばっていきましょう。



完成した谷止工工事現場の様子



上旬

① 7日 冬の灯明夜まつり

(北信署 野沢温泉村)

野沢温泉スキー場日影ゲレンデにて、灯明とゲレンデ花火、松明滑走など幻想的な光の世界。昼間とはまったく違う夜のスキー場をお楽しみください。振舞い酒のサービスなどもあります。
時間…十九時
お問い合わせ…野沢温泉スキー場



② 7日 第49回梅池高原雪の祭典

(中信署 小谷村)

「デモンストレーション」に「たいまつ滑走」、ファイナールはメモリアルも交

えた幻想的な冬の打ち上げ花火。白馬山麓最大級のイベントです。
※たいまつ滑走参加者募集中(当日会場でも受け付けます)。
時間…十九時
お問い合わせ…梅池高原スキー場

③ 7日～22日 四賀福寿草まつり

(中信署 松本市)

赤怒田の群生地には約五十万株の福寿草が自生する全国有数の福寿草群生地です。
祭りの期間は、物販、豚汁のサービス、地元の太鼓の演奏、フォトコンテストなども行われます。
場所…松本市四賀会田一八一 赤怒田福寿草群生地
お問い合わせ…四賀むらづくり株式会社



④ 7日 犬山八層トレイルランニングレース

(愛知所 犬山市)

犬山市の東部に位置する犬山八層休養林は、丘陵性山地で、スギ・ヒノキの人工林とカシ・シイ・コナラ等の天然林からなる緑豊かな森林内で、トレイルランニングレースが行われます。レース翌日八日には大会参加ランナーの皆様も含め

て、レース後のゴミ拾い「クリーンアップトレイル」を開催。
お問い合わせ…犬山八層トレイルランニングレース実行委員会

中旬

⑤ 14日～15日 第68回ぎふ梅まつり

(岐阜署 岐阜市)

金華山国有林の南麓にある岐阜梅林公園は、千三百本の梅の木が植えられた梅の名所。昭和二十六年から毎年開催されています。当日は、パフォーマンス・ショー、子ども写生大会、ミニSSLの運行など様々なイベントが催されます。
お問い合わせ…ぎふ梅まつり実行委員会



⑥ 中旬頃 香嵐溪のカタクリの花

(愛知所 豊田市)

香嵐溪の飯盛山の北西向き斜面に「カタクリの花」の群生地があります。例年開花は三月の中旬頃。香嵐溪では自生し

ていたものを保護・育成していています。花の姿が可憐で、早春の妖精ともいわれる彼女たちに是非逢いに訪れてみてください。
お問い合わせ…足助観光協会

下旬

⑦ 21日 白馬アルプス・はくのり花火

(中信署 小谷村)

若栗中央ゲレンデから花火が打ち上げられ、冬の夜空が華やかに彩られ神秘的です。
お問い合わせ…白馬乗鞍スキー場

⑧ 3月中 「平成こぶし街道」のコブシ

の花が見頃 (岐阜署 関市)

美濃(関市)と南飛騨(下呂市)を結ぶ県道五八号関金山線は「平成こぶし街道」の愛称で親しまれており、沿道には多くの「こぶしの木」が植えられています。真っ白な花が見頃を迎えます。



お知らせ

「ブランド材を用いた新空間 デザインコンペ」受賞作品 展示会の開催

中部森林管理局では、長野県の共催を受け、長野県産のブランド材を用いた新空間デザインコンペについて、昨年、十月下旬に受賞作品の発表と表彰式を行いました。

社会人の部 部門賞



「風やわらぎ」 久保 礼子 (長野県、公務員)

審査の講評
切り込み全面で曲げ加工する発想は新鮮で、波状のデザインが興味深くさわやかな印象。

学生の部 優秀賞 長野県知事賞



「かさね」
有馬 幸
(長野県 上松技術専門学校)

審査の講評
デザインとしてのインパクトがあり美しいものになりそう。可変性が高く、香りを楽しむこともできる。

受賞作品のうち、学生の部優秀賞(長野県知事賞)を受賞した「かさね」及び、社会人の部部門賞受賞の「風やわら木」について、実際に製作したものを展示致します。

開催場所

J R長野駅直結「MIDORI長野」りんごのひろば

開催日時

二月二十四日(月祝)～三月一日(日)

※二月二十四、二十九日、三月一日の十一時～十五時の間は職員が駐在します。

※「ブランド材を用いた新空間デザインコンペ」の詳細については、QRコードを読み込んでください。

お問い合わせ先

森林整備部 資源活用課
担当者：三谷、大坪
電話：〇五〇―三二六〇―六五六九



新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大しており、国内においても

感染経路を特定できない可能性のある症例が複数認められる状況となっています。

中部森林管理局としても、一月二十八日、二十九日に開催した「令和元年度中部森林技術交流発表会」の来場者に手洗い、消毒の実施や配布したマスクの着用をお願いするなど、感染対策を強化しています。

また、二月十八日には、国内において感染が拡大している状況を踏まえ、「新型コロナウイルスに関する中部森林管理局対策本部」を設置しました。これ以降、対策本部において、長野県本庁や森林管理署等と緊密に連携しながら、情報収集や職員に対する知識の普及、予防策の徹底など必要な対応を行っております。

今後來庁されるお客様には、これまで以上に感染症対策へのご協力をお願いするとともに、当局主催の行事の開催については、時々の状況に応じて延期も含め、柔軟に対応することとしておりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

編集長だより

あなたのお気に入りの一枚!お待ち申し上げます!

2月、立春を過ぎれば暦の上では春、と言っても、まだまだ寒い日が…。と例年では、このような書き出しではじまるところですが、今年は、長野市でも4月中旬の陽気が続くなど、本当に季節は春です。

ニュースでは、冬眠から覚めた熊やカエルや、雪解けの雪崩も話題になっています。また、散歩の途中に見つけたフキノトウに、春の到来を感じました。

また、スキーゲレンデでは、例年より早い、ポカポカ陽気の春スキーが楽しめます。

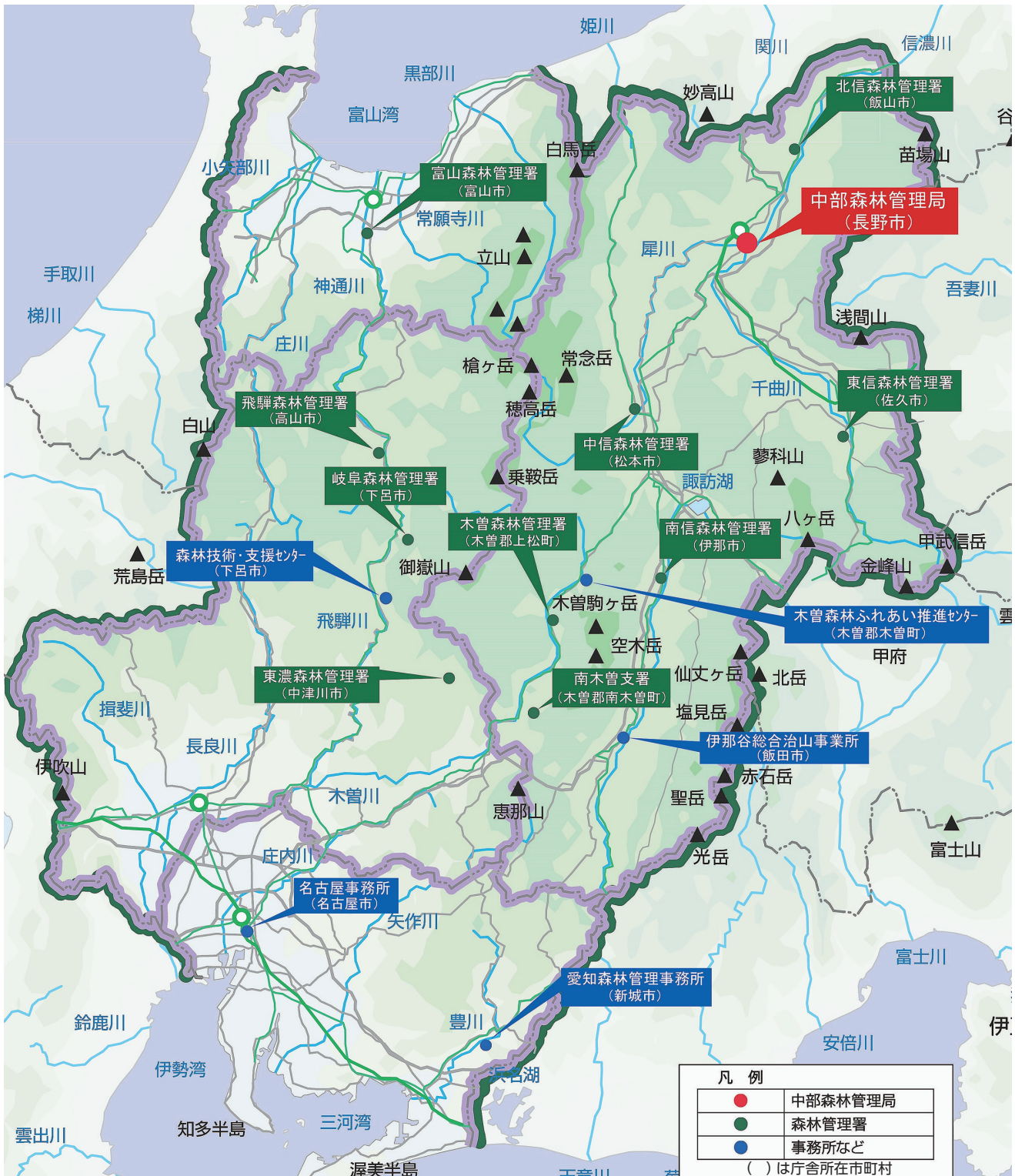
季節の変わり目となっていますので、体調をくずしたりなさいませんよう、お気をつけください。

☆魅力イッパイ国有林などに関する写真投稿を随時募集しています。

ステキな写真が撮れましたら migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)

※特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載し紹介させていただきます。ご投稿には、氏名またはニックネーム、整理番号(今月なら①～⑧のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えていただいても構いません。

☆森林でのお仕事紹介コーナーを見て、森林・林業界へのご興味を持っていただけたら幸いです。進路検討中の皆様、お気軽に最終ページのお問い合わせ先へご相談ください。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6500 FAX 026-225-6112

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曾森林管理署	〒399-5604	長野県木曾郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曾支署	〒399-5301	長野県木曾郡南木曾町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曾森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曾郡木曾町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149